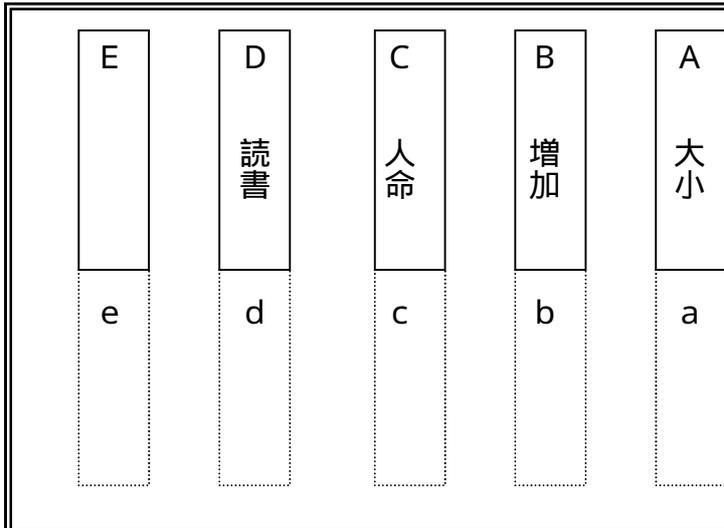


4 漢語の組立てを考えさせる指導について(5・6年)

【学習プリント】

「漢語の組立てを考えよう」

大小	人命	苦楽
黒板	不良	明暗
温水	増加	読書
未知	切断	造船
無人	生産	登山



【指導の流れ】

- 漢語を記したプリントを配布する。
- 十五個ある漢語を「五つの組」に分けることを伝える。(A・B・C・D・E)  
「次のヒントをもとにして分けましょう。」  
「ヒント A大小 B増加 C人命 D読書 この四つは分かれます。」  
「ヒント AとEには三つずつ入ります。」
- 三つ四名のグループになり、互いの考えを交流させる。  
「お互いの考えを参考にして、グループで考え直しましょう。」  
「ヒント 「一字ずつ訓読みして、上下の『つながり方』を考えます。」
- 二つの漢字の組み立て(つながり方)について、書いて説明させる。  
「次のヒントをもとにして、それぞれの語の組み立て(つながり方)についてグループで考え、aとe欄に書いて説明しましょう。」  
「ヒント aは「反対の意味になっている」
- 各グループ代表者に考えを黒板に書かせ、説明を全体で聞く。
- 発展学習として、既習の教科書教材等の漢語もAとEに分類させる。

【留意点】

- 漢語は十〜十五程度示す。「2」の作業の前に児童に指名しながら読み方を確認しておく。
- 一斉学習の形で始める。実態に応じて「ヒント」を示す。ヒントは最初に示してもよい。  
A大小・苦楽・明暗 B増加・切断・生産  
C人命・黒板・温水 D読書・造船・登山  
E不良・未知・無人
- 必要に応じて国語辞典・漢字辞典を使用してよいことを伝える。組分けの基準が「意味」でなく、上下のつながり方であることを板書等を用いて説明する。  
例 「人命」 人(ひと)の命(いのち)
- aの例を参考にさせ、グループごとに漢語の組み立て方について、自分たちの言葉で説明させる言語活動を行わせる。考えを交流させながら、時間をかけて丁寧に進めさせたい。  
例 b同じような意味の漢字がつながっている  
c上の字が下の字を詳しく説明している  
d上下逆に、下から上の字へつながっている  
e上の字が下の字の意味を打ち消している。  
説明を聞き合わせる中で、適宜教師が補説し、漢語の構成の類型について理解を深める。